



「読ませたい」と「読みたい」の間にあるもの
議会広報紙を手にとって



今年1月、第158回芥川賞に若竹千佐子さんの「おらおらでひとりいぐも」が受賞となった。遠野市出身の若竹さんは「信じられない。まさかここまでになるとは…予想以上のことで、私が一番びっくりしている」と報道陣に明かした。若竹さんは、賞を取るとか人に「読ませたい」とかそんなことは思いもよらなかったとのことであった。しかし、「読みたい」という人は後を絶たず、その後、5万5千部を増刷して累計50万部の大台に乗ってしまった。

金は上がる。市は、市民が重症化しないように健康事業に力を入れる。検診事業により、早期発見、早期治療が可能となり、医療費は抑えられ、税金は上がらない。議会広報紙の発行部数3万5千部、制作費用の437万円は、市民の税金が使われ自治会で手分けをして各戸配布している。議会広報紙の役目は、市民から負託を受けた議員が、どのように活動し、それが市民の生活にとって、どの様に反映されたのかを伝えることである。

市民の声こそいのち

現代人は、忙しすぎて大事なことを見逃してしまうことがある。人間は、得てして、自分のサイフが痛まないことには関心が薄い。しかし、知らない間に、もしサイフが痛んでいたら知らないでは済まない。例えば、国民健康保険税がある。不健康な市民が増えることに税

市民を置き去りにした議会広報紙は、もはや、作る意味がない。常に、手厳しい「市民の声こそいのち」なのである。その声が多いほど制作費用を投資した意義は大きいものとなる。毎年開催する議会報告会は、議会広報紙の一部も資料として使う。紙面を飾るのはやはり、定例会での議員の発言であり、議会としての決定事項である。市の事業や施策の多くは、議会の同意がなくては進めることができない。市としての意思を決める重要な仕事である。しかし、やはり議会議員と言えども最後は市民が決めることであり、ここにおいても「市民の声こそいのち」なのである。市民の声にアンテナを張ってゆきたいと思う日々である。あなたも大いに声に出してみてはいかがか。

(藤井幸介)

本市初の名誉市民に 山折哲雄氏

平成29年度一般会計 決算額は489億6495万円

議案審議 同意
決算審査 認定

9月定例会は8月31日から9月20日までの日程で開かれました。初日の本会議では、提出議案については、説明がなされたほか、市長による行政報告が行われました。9月3日から5日まで一般質問に12人が登壇し、市政について質問したほか、9月6日には議案審議が行われました。また、平成29年度の各会計決算については、決算特別委員会を設置し、9月12日から14日まで審査が行われ、審査の結果、平成29年度各会計決算は原案どおり認定されました。

なお、議案審議の主な可決議案や質疑は下記へ、各会計の決算額及び決算特別委員会での質疑は5ページから掲載しています。

同意

花巻市名誉市民

要旨… 山折哲雄氏を花巻市名誉市民として決定することに同意を求めるもの。山折氏は、第二次世界大戦中に花巻へ疎開。高校卒業までの6年間を過ごし、その後、宮沢賢治の世界観や日本人の宗教観に様々な提言を行った宗教学者である。

質疑

- 質問… 選考委員会での検討内容と表彰伝達は？
- 答弁… 選考委員会の内容は、個人に関する情報なので非公開であるが、全会一致での賛同であった。現時点では11月頃に当市へ来ていただくことを想定している。

可決

花巻市営住宅等条例の一部改正

要旨… (仮称)災害公営住宅(花巻中央地区)の整備に伴い、当該住宅の名称を「シティコート花巻中央」と定め、その入居者の資格について定めようとするもの。



現在建設中の「シティコート花巻中央」